

※赤字：機能向上箇所、未実装機能は今後のバージョンアップで対応予定

機能項目		MicroPecker CAN-FD Analyzer 《S810-MX-FD1-A》《S810-MX-FD1-B》	MicroPecker CAN アナライザ 《S810-MP-A1》
CAN / CAN FDインターフェース		CAN/CAN FD 2ch	CAN 1ch
対応チャンネル数		2ch/1台、最大8ch（本体4台）までの同時接続が可能	1ch/1台、最大6ch（本体6台）までの同時接続が可能
マルチチャンネル同期機能	モニタタイムスタンプ同期	最大8ch（本体4台）間のモニタデータ時刻同期	最大6ch（本体6台）間のモニタデータ時刻同期
	シミュレーション送信タイミング同期	最大8ch（本体4台）間のシミュレーション時刻同期	最大6ch（本体6台）間のシミュレーション時刻同期
通信設定	プロトコル	CAN / CAN FD 選択可能	CANのみ対応
	通信ボーレート：アービトラージ部	簡易設定では、以下の4種類が選択可能 125kbps / 250kbps / 500kbps / 1Mbps	簡易設定では、以下の4種類が選択可能 125kbps / 250kbps / 500kbps / 1Mbps 詳細設定では、プリスケラや各セグメントの設定により、フレキシブルな設定が可能
	通信ボーレート：ペイロード部	簡易設定では、以下の6種類が選択可能 125kbps / 250kbps / 500kbps / 1Mbps / 2Mbps / 5Mbps	ペイロード部の設定はなし
モニタ機能	タイムスタンプ分解能	1μs	1μs
	ロギング可能容量	ロギング先のディスク容量に依存	ロギング先のディスク容量に依存
	トリガモード	フリーRUN、開始トリガ、終了トリガ、条件一致再トリガ	フリーRUN、開始トリガ、終了トリガ
	トリガ条件	指定ログ検出、キー入力	指定ログ検出、キー入力
	ロギング出力先	ファイル、画面上（ハードディスク容量に依存）	ファイル、画面上（最大40万レコード）
	ロギング書式	テキスト形式（CSV）、16進数出力	テキスト形式（CSV）、16進数出力
シグナルモニタ機能	シグナルモニタ設定数	64（開発中のため未実装）	64
	エンコード形式	なし / 物理値 / 論理値 / BCD変換 / ASCII（開発中のため未実装）	なし / 物理値 / 論理値 / BCD変換 / ASCII
	モニタ中のシグナル表示	対応（開発中のため未実装）	対応
	モニタ中のグラフ表示数	4（開発中のため未実装）	1
シミュレーション送信機能	送信時間の分解能	0.1ms	1ms
	送信時間の保証精度	0.2ms	1ms
	設定フレーム数	28フレーム	24フレーム(Remote受信運用時は、22フレーム)
	フレーム種別	周期送信、周期トリガ、イベント送信、イベント周期送信	周期送信、イベント送信、イベント周期送信
	送信周期	0.1ms～6000msの範囲で設定可能（0.1ms単位）	1ms～6000msの範囲で設定可能（1ms単位）
	初回送信オフセット	0ms～6000msの範囲で設定可能（0.1ms単位）	0ms～6000msの範囲で設定可能（1ms単位）
	送信カウント	0～60000回の範囲で設定可能 ※0は制限なし設定	0～10000回の範囲で設定可能 ※0は制限なし設定
	イベント種別	フレーム受信トリガ、ログトリガ、キートリガ	フレーム受信トリガ、ログトリガ、キートリガ
	イベント検出後の送信Delay	0ms～6000msの範囲で設定可能（0.1ms単位）	0ms～6000msの範囲で設定可能（1ms単位）
	同一フレームの送信間隔保証時間	0.1ms～59999msの範囲で設定可能	1ms～59999msの範囲で設定可能
ログ再生送信機能	送信時間の分解能	0.1ms	1ms
	送信時間の保証精度	0.2ms	1ms
	先頭フレーム送信オフセット	0ms～6000msの範囲で設定可能	0ms～6000msの範囲で設定可能
	ログ再生開始タイミング	モニタ開始、フレーム受信トリガ、ログトリガ、キートリガ	モニタ開始、フレーム受信トリガ、キートリガ
	転送モード	リポートモード、単転送モード	リポートモード、単転送モード
バースト転送機能	ログ再生対応チャンネル数	最大4ch（本体1台につき1ch）	最大6ch（但し、PCスベックに依存）
	対応チャンネル数	1ch	1ch
	1Frame送信	単一CAN IDの連続送信	単一CAN IDの連続送信
	ログバースト送信	ログデータからのフレーム連続送信	ログデータからのフレーム連続送信
	転送開始タイミング	モニタ開始、フレーム受信トリガ、ログトリガ、キートリガ	モニタ開始、フレーム受信トリガ、ログトリガ、キートリガ
ログ解析機能	転送モード	ループあり/なし	ループあり/なし
	ゲートウェイ遅延解析	ゲートウェイ対象フレームのゲートウェイ遅延時間を計測	ゲートウェイ対象フレームのゲートウェイ遅延時間を計測
	ゲートウェイメッセージ消失検出	ゲートウェイで消失したメッセージの検出	ゲートウェイで消失したメッセージの検出
	ゲートウェイ滞留数ピーク値解析	ゲートウェイ対象フレームをゲートウェイ側で保留したピーク値を計測	ゲートウェイ対象フレームをゲートウェイ側で保留したピーク値を計測
	バス負荷解析	任意の単位時間あたりのバス負荷を計測（%、グラフ表示）（開発中のため未実装）	任意の単位時間あたりのバス負荷を計測（%、グラフ表示）
	シグナル解析	特定CAN IDのシグナル値のトレース（物理量変換表示、グラフ表示）（開発中のため未実装）	特定CAN IDのシグナル値のトレース（物理量変換表示、グラフ表示）
フレーム周期解析	特定CAN IDのフレーム周期を計測（Max,Min,Average）	特定CAN IDのフレーム周期を計測（Max,Min,Average）	
シグナル値変換によるログファイル出力	対応	対応	
設定情報の保存と読み出し	xml形式で保存	xml形式で保存	
MicroPeckerとのタイムスタンプ同期	MicroPecker RAMモニタ、LINアナライザ、CANアナライザとのモニタデータ時刻同期	MicroPecker RAMモニタ、LINアナライザ、MicroPeckerX CAN-FDアナライザとのモニタデータ時刻同期	